

平成26年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第9条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会

平成26年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（見本）理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種	学部・学年等	価格
1	借成社	さわる絵本 ちびまるのぼうけん	算数	視覚障がい	小学部・6年(特別学級)	¥3,045
2	ひさかたチャイルド	ゆかいにひろがることば絵本	国語	知的障がい	中学部・2年	¥1,680
3	学研	あそびのおうさまずかん からだ	理科	知的障がい	中学部・1年	¥819
4	ミキハウス	ポカポカフレンズのおんがくえほん もっきん	音楽	知的障がい	小学部・3年	¥2,730
5	合同出版	イラスト版 気持ちの伝え方 コミュニ ケーションに自信がつく44のトレーニング	国語	聴覚障がい	中学部・3年(特別学級)	¥1,680
6	ひさかたチャイルド	ぎゆうぎゆうでんしゃ	生活	病弱	小学部・5年(特別学級)	¥1,260
7	大日本絵画	にぎやかペット!	国語	視覚障がい	小学部・2年(特別学級)	¥1,680
8	東京書籍	めくる うごかす しかけずかん くだもの	生活	知的障がい	小学部・4年	¥2,100
9	童心社	まいごのどんぐり	国語	肢体不自由	中学部・2年(特別学級)	¥1,365
10	コクヨS&T株式会社	「かく」あいうえおにぎり	国語	知的障がい	小学部・4年	¥1,449
11	中央法規	「働く」の教科書	職業・家庭	聴覚障がい	中学部・3年(特別学級)	¥1,575
12	ポプラ社	まるまるまるのほん	図画工作	肢体不自由	小学部・5年(特別学級)	¥1,365
13	ポプラ社	このかたちなあに	算数	知的障がい	小学部・1年	¥924
14	合同出版	絵でわかるこどものせいかつずかん2 しよくじのきほん	生活	知的障がい	小学部・3年	¥1,470
15	徳間書店	ゆうびんやさん おねがいね	国語	肢体不自由	小学部・2年(特別学級)	¥1,575
16	経済界	キッチンであそぼ!	職業・家庭	知的障がい	中学部・2年	¥1,500
17	成美堂出版	わくわくコンビニあそびレジスター	生活	知的障がい	小学部・2年	¥2,310
18	実業之日本社	WORLD ATLAS 世界をぼうけん! 地図の絵本	社会	病弱	中学部・2年(特別学級)	¥1,890
19	小学館	てんじつきさわるえほん さわるめいろ	国語	視覚障がい	中学部・1年(特別学級)	¥1,995
20	永岡書店	耳から覚える! はじめてのえいご おしゃべりえほん	外国語	聴覚障がい	中学部・1年(特別学級)	¥1,974

2 一般図書選定の理由書（次頁）

一般図書選定の理由書

番号	1
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	さわる絵本 ちびまるのぼうけん	発行者名	偕成社		
図書の内容	<p>本書は、絵の輪郭部分が隆起印刷されており、指で触って分かるようになっていいる。また、背景と絵の輪郭は青色、絵の中は白色でコントラストがはっきりしているため見やすくなっており、見ても触っても楽しめる図書である。内容は丸の形の「ちびまる」が本の中を冒険するというものであり、三角形・四角形などの形が登場人物として出てくる。触ったり見たりしながら形の名称を覚えられることに加え、「大小」を学習したり、図形を数えて数の学習をしたりすることもできる。</p>				
対象学年	小学部6年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	算数
選定の理由	<p>本児の両眼視力は、縞視標での測定でおおよそ0.04程度であり、視野の狭さもあると推測される。人の顔を見分けたり、簡単な色の区別ができたりする。文字や線が入り組んだ絵などの認識は難しい。視覚と触覚の両方を使っての学習を行っている。知的にも遅れがあり、知的発達段階は3歳程度である。</p> <p>本書の絵は、触ることと見ることが可能であるため、本児の実態に適している。物語を読んでもらい話を楽しみながら、それに合わせて絵を触ったり見たりしていく中で、形を覚えることにつながるものと考えられる。同じ形でも形の大きさが違うものが出てくる場面では、「どちらが大きい?」「どちらが小さい?」などと問いかけ、大小を比較する学習を取り入れたい。また、同じ形が多数出てくる場面では、数唱に合わせて形を指で押さえたり、触りながら正しく数を数えたりするなどの活動を取り入れ、数概念の形成につなげたい。</p> <p>指導の概略</p> <p>(1) 教師に物語を読んでもらう。 (2) 絵を見たり、触ったりして丸・三角形・四角形を認識する。 (3) 教師に物語を読んでもらいながら、絵を見たり触ったりして、形の名称を学習する。 (4) 形の「大小」を学習する。 (5) 図形を数え、数の学習をする。</p>				

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	2
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ゆかいにひろがることば絵本	発 行 者 名	ひさかたチャイルド		
図 書 の 内 容	<p>大きいものでも、より大きいものから見たら小さかったり、良いことでも、立場が違えば悪いことだったり、「おおきい・ちいさい」「あかるい・くらい」「よい・わるい」など比較する言葉が、様々な場面や状況で表現されている。ユーモラスなイラストとともに、使用されている文字がすべて平仮名であるため、読みやすく分かりやすい内容である。</p> <p>いろいろな種類の比較する言葉を覚えたり、場面に合わせた言葉を考えたりしながら、楽しく言葉の学習ができる絵本である。</p>				
対 象 学 年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、知的発達段階が8歳程度で、自閉症と診断されている生徒である。日常生活動作は、おおむね自立しており、簡単な言語指示を理解して行動することができる。平仮名と片仮名をほとんど読んだり書いたりすることができ、絵本に興味があることから、いろいろな種類の絵本を読んで楽しむことができる。話すことが好きで、経験したことや今日の出来事など、教師の問いかけに対し単語や二語文で答えることができる。</p> <p>本書は、様々な場面や状況に合わせて会話をしてみたり、文を作ってみたりする学習ができることから、言葉の獲得に役立たせることができると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵本を見ながら教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 教師と一緒に絵本を見ながら、比較する言葉を読んで覚える。</p> <p>(3) 絵本に出てくる言葉を使って文を作る。</p> <p>(4) 様々な場面や状況に合わせて、比較する言葉を話したり書いたりする。</p> <p>(5) 知っている比較する言葉を話したり書いたりする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	3
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	あそびのおうさまずかん からだ		発行者名	学研	
図書の内容	人間の体の部位、筋肉、血管、神経、骨の名称を、親しみやすいイラストで紹介したり、腕、目、耳、鼻、口などをかえるや象、魚、鷺、とんぼ、かたつむりなどの様々な生き物と見比べたり、働きを簡単な言葉で分かりやすく説明したりしている。さらに、使われている文字が平仮名と片仮名であることから、読みやすい図書である。また、病気についても触れられており、病気にならないために「好き嫌いをしない」「早寝早起きする」など、普段の生活で気をつけることが掲載されている。				
対象学年	中学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	理科
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達段階が8歳程度で、食事、着替え、排泄などの日常生活はおおむね自立している。徒競走やマット運動など体を動かすことは苦手としているが、ビーズ通しや刺し子などの細かな作業は集中して取り組むことができる。また、絵を描くことを得意とし、好きな動物やキャラクターを描いて休み時間を過ごすことが多い。</p> <p>昨年、学級で飼育していたおたまじゃくしがかえるに成長することを知ってから、生き物の成長や体の仕組みに興味を持ち始めている。「僕が目、目は先生を見ます」「耳は歌を聞きます」と体の仕組みについてもよく話すようになってきている。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 自由に好きなページを読む。</p> <p>(2) 教師や友だちと部位の名称を言いながら、自分の体で確認する。</p> <p>(3) 友だちと役割分担し、筋肉、血管、神経、内臓、骨の名称や働きについて本を見ながら学習プリントにまとめ、発表し合う。</p> <p>(4) 自分の目、耳、鼻、口などと他の生き物を比べて、同じところと違うところを探して、学習プリントにまとめて発表し合う。</p> <p>(5) 目、耳、鼻、口の働きについて、本を見て学習プリントにまとめて発表し合う。</p> <p>(6) 一番興味をもった体の部位について自由に絵を描き、まとめのファイルの表紙とする。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	4
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ポカポカフレンズのおんがくえほん もっきん		発 行 者 名	ミキハウス	
図 書 の 内 容	<p>本書は全15曲の歌詞、楽譜と音符マーク、木琴を模したパーツがセットになっている。「チューリップ」「かたつむり」「どんぐりころころ」など、子どもたちが慣れ親しんでいる曲が多く収められている。鍵盤部分は付属のばちで叩いても、手で叩いても音が鳴るため、ばちを上手に使えない子どもでも楽しむことができる。曲のテンポは「速く・標準・遅く」の3段階に切り替えることができる。また、メロディが流れているときには、鍵盤の上に付いているライトが光り、叩くところを教えてくれるので、楽譜や音符マークに頼らなくても演奏をすることができる。</p>				
対 象 学 年	小学部3年	障 が い 種 別	知的障がい	該 当 教 科	音楽
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達段階が4歳程度のダウン症の児童である。身辺処理が未確立な部分があり、支援を要する。簡単な言語指示を理解して行動することができる。友だちや教師とのかかわりに積極的で、言葉は不明瞭ではあるが自分から話しかけたり、身振りで自分の思いを伝えようとしたりする様子も見られる。音楽がとても好きで、曲が流れると自然と体が動き、楽しそうに踊る様子がよく見られる。遅いテンポであれば簡単な楽器の演奏もできる。</p> <p>音楽が好きな本児は、ボタンを押して好きな曲を聴いたり、リズムに合わせて自由に鍵盤を叩いたりして楽しむことができる。また、鍵盤の上のライトを頼りに演奏するなど、様々な方法で活用できると考えられる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) ボタンを押して好きな曲を聴いたり、曲に合わせて歌ったりする。</p> <p>(2) ばちや手で自由に鍵盤を叩き、どんな音が鳴るかを聴いたり、鍵盤を順番に叩いて音の変化を感じたりする。</p> <p>(3) リズムに合わせて自由に鍵盤を叩く。</p> <p>(4) 楽譜の「音符マーク」に合わせて鍵盤を叩く。</p> <p>(5) 曲のテンポを「遅く」にして、光ったライトのところの鍵盤を叩く。慣れてきたら曲のテンポを速くしていく。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	5
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	イラスト版 気持ちの伝え方 コミュニケーションに自信がつく 44のトレーニング	発行者名	合同出版		
図書の内容	<p>「仲直りしたいとき」「うれしいとき」「どうしたいのか分からなくなったとき」「お願いするとき」など、いろいろな人とかかわる中での「こんなとき、なんて言うのだろうか?」と思ったときの対処法が実践例で紹介されている。すべての漢字にふりがながついていて、ユニークなイラストにより楽しく読むことができる。</p> <p>話し方のコツや、自分の気持ちや考えを言葉で表現するためのヒントが具体的に示されているので、コミュニケーションの力を身につけることのできる内容の図書である。</p>				
対象学年	中学部3年(特別学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、聴力が左右とも100dBで知的発達段階が8歳程度の知的障がいのある生徒である。日常生活動作は、ほぼ自立しており、手話や補聴器を介してある程度のコミュニケーションをとることができる。発音が不明瞭な部分があることや会話することが苦手であることなどから、人とかかわりに消極的である。また、会話をする力が不十分なことにより、友だちから誤解されたり、自分の気持ちを上手く表現できずに投げやりな態度をとったりすることもある。</p> <p>いろいろな場面に合わせた動作や具体的な言葉の表現を学習することで、状況に合わせた受け答えができたり、自分の考えや気持ちを話したりすることに役立ち、様々な人とかかわりやコミュニケーションの広がりが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を自由に見て、自分の周囲の人とかかわり方について振り返る。</p> <p>(2) 絵本を見ながら、いろいろな場面での話し方や受け答え方を知る。</p> <p>(3) いろいろな場面と自分の経験を重ねて考え、気持ちを話したり書いたりする。</p> <p>(4) 教師を相手に決まったパターンでやりとりの練習をする。</p> <p>(5) 教師や友だちを相手に、いろいろな場面に合わせて会話をする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	6
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ぎゅうぎゅうでんしゃ	発 行 者 名	ひさかたチャイルド
図 書 の 内 容	<p>森のお祭りの日にお祭り行きの特別電車が出るが、お客さんが多くて最後の電車も満員だった。電車に乗れないおともだちを乗せるために、みんなが詰めて最後の電車はぎゅうぎゅうになっていく。それでも、また乗れない仲間が出てくる。そんな仲間のために、また詰めて仲間を電車へ乗せていく。</p> <p>人や動物たちが、困っている仲間を協力して助けるという内容で、分かりやすく読みやすい絵本である。</p>		
対 象 学 年	小学部5年(特別学級)	障がい種別	病弱 該当教科 生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、これまで心臓疾患のため入退院を繰り返してきたため、長い学習空白がある。また、軽度の知的障がいもあり、現在小学校2年生程度の学習内容に取り組んでいる。心臓疾患のため生活場面や学習場面にも制限があり、本やテレビでは知っているが、実際に見たり、経験したりしたことがないという事柄が多く、生活経験の少なさが見られる。</p> <p>本児は乗り物を好み、特に電車に興味をもっている。電車で出かけるという経験も少ないことから、自分で読むことができる本書をきっかけに電車に乗るときのマナーを知ったり、乗り方(時刻表、切符の買い方、駅など)を調べたりして校外学習につなげた指導に展開していきたいと考える。</p>	
	指 導 の 概 略	<p>(1) 一人で読む。</p> <p>(2) 電車には自分だけではなく、たくさんの人が乗ることを知る。</p> <p>(3) 電車に乗るときのマナーについて、教師や友だちと話し合う。</p> <p>(4) 電車の乗り方について、インターネットや図書室で調べ学習をする。</p> <p>(5) 調べた電車の乗り方をもとに、実際に電車に乗る校外学習を計画する。</p> <p>(6) 実際に電車に乗って分かったことや気づいたことをまとめる。</p>	

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	7
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	にぎやかペット！		発行者名	大日本絵画	
図書の内容	<p>本書は、かわいい犬・猫・ウサギ・魚・鳥の絵が描かれているとともに、絵の一部分を押すと鳴き声や効果音が鳴る仕掛けが施されている。それぞれの動物の絵は、大きくはっきりとした色で描かれており見やすくなっている。犬の耳、猫のお腹、ウサギの耳など、各動物の体の一部はフェルトや毛、キルトなどの素材を使用しており、「もこもこ」「ふわふわ」「なめらか」などの感触を味わうことができるようになっている。目でも耳でも指でも楽しめる絵本である。</p>				
対象学年	小学部2年(特別学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、両眼視力が0.01程度の児童である。知的な遅れもあり、知的発達段階が3歳程度である。言葉による簡単なコミュニケーションができるようになってきた。絵本などを見るときには視距離を約5cmに近づけている。段差などに気付きにくく、移動の際の支援が必要である。日常生活では一部支援を必要とする場面もあるが、それ以外は自分で行う習慣が身につけてきている。</p> <p>本書は、視力が低い本児にとって認識しやすい絵や色遣いになっている。また、仕掛け部分はそれぞれの動物で素材が異なり、触ってその感触を楽しみ、触った感触と「もこもこ」「ふわふわ」などの言葉を結びつける学習ができる。仕掛け部分を押すことによって、動物の鳴き声や効果音が鳴るため、その鳴き声や効果音を真似してみるなどの活動にも使える。本書を使うことで視覚・触覚・聴覚を活用した学習が可能である。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を自由に見る。</p> <p>(2) 仕掛け部分を触ったり、ボタンを押してみたりする。</p> <p>(3) 教師の読み聞かせを聞いて楽しむ。</p> <p>(4) 教師と一緒に素材の違いを触って楽しむ。触りながら、「もこもこ」「ふわふわ」など言葉にする。</p> <p>(5) 鳴き声や効果音を聞いて真似をする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番	8
号	

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	めくる うごかす しかけずかん くだもの		発 行 者 名	東京書籍		
図 書 の 内 容	<p>「どんなふうに乗っているの?」「どんなところに生えているの?」「どこをどうやって食べるの?」「えいごでなんて言うの?」などの、よく知られている果物についての疑問を、仕掛けをめくって中をのぞいてみたり、スライドさせて変化をみたりして、楽しみながら理解することができる図書である。すべて平仮名で表記しており、かわいらしいイラストや写真も掲載している。</p> <p>普段目にする果物について知ることをきっかけとして、いろいろな食べ物のことについての学習へと発展させることができる内容である。</p>					
対 象 学 年	小学部4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活	
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達段階が5歳程度の知的障がいの児童である。日常生活では、一部支援を必要とするが、簡単な内容であれば言葉の指示を理解して行動することができる。学習面では、平仮名を8割程度読むことができ、書くことができる平仮名が増えてきている。食べるのが大好きで、毎日の給食メニューを読んだり書いたりすることを日課としている。また、外を散策したり、花に水やりをしたり、畑で野菜を育てたりする活動に興味をもっている。</p> <p>絵本の仕掛けをめくったり動かしたりしながら、果物の花や葉、収穫までの様子などを知ることにより、いろいろな食べ物や自然について理解を促す学習へと広げることができると思う。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 好きなページをめくったり、しかけを触ったりしながら、自由に見て楽しむ。</p> <p>(2) 絵本に出てくる果物の名前を読んだり書いたりする。</p> <p>(3) 「なかはどうなっているの?」などの疑問に答えながら、いろいろな果物について興味・関心をもつ。</p> <p>(4) 絵本に出てくる果物を、実際に食べてみたり、育てて収穫したりする。</p> <p>(5) 知っている果物や絵本に出てくる果物に関係した食べ物について話す。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	9
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	まいごのどんぐり	発行者名	童心社		
図書の内容	<p>コウくんは「ケーキ」と名付けたお気に入りのどんぐりを落としてしまう。必死になって探すが見つからない。とうとう最後にはあきらめてしまうことになる。時間が流れ、どんぐりの「ケーキ」も立派などんぐりの木になった。コウくんを待ち続け、見守ってきた「ケーキ」のもとへ大人になったコウくんがやってきて再会する。コウくんを思い続けた「ケーキ」は、実を落とすことでコウくん呼びかける。その呼びかけにコウくんは気付く。</p> <p>時間が経過しても、友情は変わらないことを感じさせてくれる絵本である。</p>				
対象学年	中学部2年(特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、肢体不自由と知的障がいを併せ有し、知的発達段階が7歳程度である。脳性まひによる下肢機能障がいがあり、車椅子で移動している。小学1年生程度の漢字を読むことができる。不明瞭な発音があるものの、自分の気持ちなど言葉で伝えることができる。</p> <p>小学校4年生まで居住地の小学校の特別支援学級に在籍していた。本校へ転入後は、前籍校と交流学习を行っており、居住地の友だちとの交流を継続していた。しかし、中学生になり、居住地の友だちとの交流も様々な理由で難しくなっている。本生徒は「友だちに忘れられるのではないかと話すこともある。</p> <p>本書を通して、いつも一緒にいるだけが友だちではないこと、時間が経過しても友だちでいられることを知り、手紙を書く学習を通して友だちとのかかわり方を考えるきっかけにしたい。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師に読んでもらう。</p> <p>(2) 自分で読む。</p> <p>(3) コウくんと自分が似ているところを探して話し合う。</p> <p>(4) どんぐりの「ケーキ」と自分が似ているところを探して話し合う。</p> <p>(5) 居住地の友だちへの気持ちを話す。</p> <p>(6) 居住地の友だちへの気持ちをまとめる。</p> <p>(7) 居住地の友だちへの手紙を書く。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	10
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	「かく」あいうえおにぎり		発 行 者 名	コクヨS&T株式会社	
図 書 の 内 容	<p>「あ」はアイスクリーム、「い」はいちご、「う」はうめぼしなど、平仮名50音が食べもののイラストと一緒に掲載されている図書である。それぞれの平仮名は書き始めの位置や書き順が分かるように、矢印や点線などで示されている。書き方シートと鉛筆が付いており、見て覚えるだけでなく、平仮名を書く練習をすることもできる。また、食べものの名前だけでなく、「ころっけまんまるなにかけよう？」などの短い文章も載っているので音読や暗唱の学習にも使用することができる。</p>				
対 象 学 年	小学部4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達段階が4歳程度の児童である。簡単な言葉を使ってコミュニケーションを取ることができる。身辺処理はほぼ自立しているが、指先の不器用さがあり、ボタンかけなどには時間がかかる。絵本を見るのが好きで、知っている食べものや動物の名前を話している。文字に興味をもち始めており、いくつかの平仮名を読むことができる。</p> <p>本書は、食べものの名前で50音が紹介されていることから、興味をもって平仮名や食べものの名前を覚えることができると思われる。また、覚えた平仮名は、書き方シートを使って練習することで、書き方の定着を図ることができる。付属の鉛筆は三角形の軸になっており、鉛筆の正しい持ち方を身に付けることにも有効である。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵本を見ながら知っている食べものや好きな食べものを探す。 (2) 教師と一緒に「アイスクリームの『あ』」などと言いながら平仮名を覚える。 (3) 覚えた平仮名について書き方シートを使って書いてみる。 (4) 同様に(2)と(3)を繰り返して一文字ずつ学習していく。 (5) 絵本に書かれている食べものの名前を読む。 (6) 文章を音読、暗唱する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	11
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		「働く」の教科書	発 行 者 名	中央法規		
図 書 の 内 容		<p>事務、製造、飲食、販売などの様々な職場で働く特別支援学校卒業生の様子が紹介されている。一日のタイムスケジュールや仕事内容、「仕事を選んだきっかけ」「職場の人たちとの関係」などがインタビュー形式で写真とともに掲載している。どのページにもふりがなが付いているので、読みやすい図書である。</p> <p>将来の仕事や「働く」ことについて考えながら、興味をもった職業について知識を深めることができ、進路学習に役立つ図書である。</p>				
対 象 学 年		中学部3年(特別学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、聴力が左右とも95dBの聴覚障がいと軽度の知的障がいのある生徒である。日常生活動作は、ほぼ自立しており、補聴器を活用してある程度のコミュニケーションを取ることができる。将来は、グループホーム等での共同生活や支援を受けながらの一人暮らしが予想される。進路学習や職場見学によって、「デパートで働きたい」「ウエイトレスをしたい」などの進路希望を話す、仕事内容の理解が不十分だったり、様々な仕事についてのイメージを具体的にもてなかったりしている。</p> <p>仕事について知識や情報を得ることで、自分のやりたい仕事を探したり、将来の生活を考えたりすることに役立つと考える。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 興味・関心のある職業について読み、自分の将来の仕事について考えたり話したりする。</p> <p>(2) 職業名や仕事内容を書き出したり、説明を読んだりして、様々な職業について知る。</p> <p>(3) 家族や卒業生から仕事の様子について聞いたり、職場見学をしたりして様々な職業の知識を深める。</p> <p>(4) 興味をもった職業についてインターネットなどを活用して調べたり、調べたことを発表したりして、自分の将来の仕事について考える。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	12
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	まるまるまるのほん		発 行 者 名	ポプラ社	
図 書 の 内 容	黄色、赤色、青色の三色の丸しか出てこないシンプルな内容の図書である。指示に従って、黄色の丸を押してページをめくると黄色の丸が増えていたり、こすってページをめくると赤色や青色の丸に変化したりする。本を揺すってページをめくると3色の丸がバラバラになったり、本を傾けてからページをめくると丸がページの左側や右側に偏ったりするので、本に触れるたびに三色の丸の動きに変化が見られ、「次はどうなる？」と期待しながらページをめくる楽しさを味わえる絵本である。				
対 象 学 年	小学部5年生 (特別学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	図画工作
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	本児は、肢体不自由と知的障がいを併せ有し、知的発達段階が1歳程度の児童である。食事、排泄などの生活全般において介助が必要であり、車椅子を使用している。身近な大人とのかかわりを楽しむ様子が見られ、声をかけられるとそちらに視線を向けて笑顔になる。筋緊張が強く、思うようには動かせないものの、優位である右手を好きなおもちゃなどの目的物に向かって伸ばす様子が見られるようになってきている。初めての物や音に対して体を強ばらせるなど、新しい刺激に敏感な様子も見受けられたが、経験を重ねていくことで学習場面において過敏な反応は見られなくなってきている。			
	指 導 の 概 略	(1) 教師と一緒にページをめくって丸の色や数の変化を見る。 (2) 教師と一緒にクリックしたり、たたいたりして実際に触れながら本を読んでもらう。 (3) 本の話に合わせて、黄色、赤色、青色の絵の具に触れる。 (4) 教師と一緒に指先に絵の具をつけて画用紙に丸を描く。 (5) 色の違いや色の重なりに注目しながら丸を大きく描く。 (6) 慣れてきたら、指先だけでなく手のひら全体に絵の具をつけて上肢全体を動かしながら大きな丸を描く。 (7) 洗濯のりやスライムを加えた絵の具で感触の違いを感じながら、丸を描きながら色遊びをする。			

(記入上の注意)

- 対象学年の () は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	13
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		このかたちなあに	発 行 者 名	ポプラ社		
図 書 の 内 容		<p>本書は、こぐまのクーとマーがお母さんからもらった大きな紙にいろいろな絵を描きながら形を覚えていく内容となっている。シンプルなクレヨンの線の丸・三角形・四角形から、「おひさま」「りんごの木」「おうち」などの絵が出来上がる。後半はそれぞれの形を組み合わせて「さかな」「じどうしゃ」「ひまわり」「ねこ」が描かれている。絵本を見たり、絵を真似して描いたりすることで形を覚えるとともに、身近なところに丸・三角形・四角形がたくさんあることに気付くことができる。</p>				
対 象 学 年		小学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達段階が3歳程度の児童である。身辺処理では一部支援を要するが、自分でやろうという態度が見られる。簡単な言葉の指示を聞いて行動したり、自分の要求などを身振りや単語などで伝えたりすることができる。お絵かきが好きで、クレヨンを握りもちし、自由に絵を描いて楽しんでいる。パズルや型はめの学習をとおして、形に関心をもつようになってきた。</p> <p>本書を使用し、絵を描きながら形の学習をすることは本児にとって興味のもてる学習内容であり、意欲的に取り組むことが期待できる。また、本書を用いて形の学習を行った後、学校の中の丸・三角形・四角形探しなど、発展させた学習につなげていきたい。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵本を自由に見る。 (2) 教師による読み聞かせを聞く。 (3) 絵本に描かれている丸・三角形・四角形を真似して描いたり、形の名称について学習したりする。 (4) 絵本の絵を真似しながら、「おひさま」「りんごの木」「おうち」などを描いてみる。 (5) 絵本を見ながら「さかな」「じどうしゃ」など、形を組み合わせた絵を描いてみる。 (6) 自分で考えて、丸・三角形・四角形を使った絵を描く。 (7) 身の回りの丸・三角形・四角形探しをする。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	14
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	絵でわかるこどものせいかつずかん2 しょくじのきほん		発 行 者 名	合同出版	
図 書 の 内 容	<p>「はし・スプーン・フォークを使う」「ごはんの食べ方」「お店で食べる」「冷蔵庫の使い方」「食器を片付ける」など、日常生活のいろいろな場面での食事に関する動作が取り上げられた図鑑である。かわいらしいイラストとともに、基本の生活動作を説明しているので、楽しみながら読むことができる。</p> <p>様々な生活場面を、自分の経験と重ね合わせながら考えることで、基本の生活動作を身に付けることができる内容である。</p>				
対 象 学 年	小学部3年	障 が い 種 別	知的障がい	該 当 教 科	生 活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達段階が4歳程度の児童である。着替えや排泄など一人で行えることが増えてきているが、日常生活全般では支援を必要とする場面が多い。簡単な内容であれば言葉による指示を理解して行動することができる。学習面では、自分の名前や身の回りのものの名前を読んだり、線やいろいろな形をなぞって書いたりすることができる。食べることが大好きなので、給食当番に積極的で、家庭では食器を運ぶ手伝いをしたり、調理の様子を興味深く見ていたりする。</p> <p>本書は、食事を中心とした基本の生活動作を分かりやすく掲載しているので、教師と一緒に見て確認し、繰り返し行いながら生活動作を身に付けることができると思う。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵本を自由に見る。</p> <p>(2) クイズ形式で、場面に合う言葉や動作を話したり、やってみたりして、いろいろな生活動作を覚える。</p> <p>(3) 校外学習や宿泊学習などの事前学習において、食事の基本動作について確認する。</p> <p>(4) 自分の生活といろいろな場面とを重ねて振り返りながら、基本の生活動作を身に付ける。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	15
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ゆうびんやさん おねがいね	発 行 者 名	徳間書店
図 書 の 内 容	<p>コブタくんは、遠く離れて暮らす大好きなおばあちゃんの誕生日にとびきりのプレゼントを思いつき、郵便局へ出かけた。窓口係のイヌさんに事情を話し、郵便リレーが始まった。両手を大きく広げて「ぎゅっ」と抱きしめることがコブタくんの思いついたプレゼントだった。「ぎゅっ」をリレーすることで温かな気持ちになっていく郵便屋さんがいろいろな動物で描かれており、次は誰を「ぎゅっ」とするのかを楽しみにページをめくることができる絵本である。</p>		
対 象 学 年	小学部2年(特別学級)	障がい種別	肢体不自由 該当教科 国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、肢体不自由と知的障がいを併せ有する児童である。知的発達段階は2歳程度である。日常生活全般において介助が必要である。車椅子を使用して移動しているが、歩行器を使って、10mほどの歩行が可能であり、自分の好きなおもちゃや身近な大人を目指して歩くことを楽しみにしている。てんかんの発作が多く、眠そうな表情が見られることもある。</p> <p>学習場面では、学級の教師の顔が分かり、目で追うようになってきた。また、呼名されると声のする方に視線を向けることができるようになってきている。手遊びなどの楽しさを感じるようになり、くすぐられることを期待して笑顔で待つ姿が見られるようになってきた。</p>	
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒にページをめくって絵を見る。</p> <p>(2) 教師に読んでもらう。</p> <p>(3) 教師が両手を広げて児童の名前を呼び、教師を見たら「ぎゅっ」と抱きしめる。</p> <p>(4) 教師と一緒に両手を広げてから友だちを「ぎゅっ」と抱きしめる。</p> <p>(5) 指さししながら「次は〇〇さん(先生)」と友だちや教師の名前を呼び、そちらへ児童が視線を向けたのを確認してから、友だちや教師を「ぎゅっ」と抱きしめる。</p> <p>(6) 物語に合わせて、友だちや教師と一緒に「ぎゅっ」のリレーをする。</p>	

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	16
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	キッチンであそぼ!	発行者名	経済界		
図書の内容	<p>本書は、ひじきとツナのたきこみごはん、きりぼしだいこんとわかめのサラダなど10種類の料理が掲載されているレシピ本である。見開き2ページで、材料、手順が写真で示されている。材料は、食材ごとにその料理で使う分量が写真で示され、さらに手順は、各料理4～6の手順ごとに写真で紹介されており、視覚的に分かりやすくなっている。本の後半は「マイレシピ」ページになっている。使用する道具や食材のシールを貼ったり、料理の絵を描いたり、写真を貼るスペースなどがあり、料理を作った後の振り返りができるようになっている。どの料理も簡単にできるため、調理の基本を身に付けるのに適している。</p>				
対象学年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	職業・家庭
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達段階が6歳程度の生徒である。日常生活動作はほぼ自立している。言語指示を理解して行動することができ、平仮名と片仮名を読むことができる。調理活動に興味をもち、意欲的に調理学習に取り組んでいる。これまでは教師の支援を受けながら調理学習を行ってきた。</p> <p>本書は、材料や手順が写真で示されていて分かりやすく、作り方も簡単なものが紹介されている。したがって、生徒が一人で調理活動に取り組む力を身に付けるための最初の段階として用いるのに適している。調理後にはレシピページをまとめることによって、次回同じ料理を作る際にいかすことができる。食材の購入から調理までを自力で行う経験を重ね、自立に向けた力を付けていきたいと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) これまでの調理したことのあるものを思い出す。 (2) 本書を見て、食べてみたいもの、作ってみたいものを選ぶ。 (3) 写真やイラストを見て、必要な道具や材料について知る。 (4) 料理手順を確認する。 (5) 材料を購入する。 (6) 本書を見ながら調理する。 (7) 味や調理活動についての自己評価をする。 (7) レシピページにまとめる。 (8) 次の料理を作ったり、再び同じ料理を作ったりするなど、調理活動に継続的に取り組む。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	17
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	わくわくコンビニあそびレジスター	発 行 者 名	成美堂出版		
図 書 の 内 容	<p>コンビニエンスストアでの買い物場面が描かれており、品物カード、お金シート、お金の代わりに支払いができるお買い物カード、値段を読み取ることができるハンドスキャナー、値段を表示したり計算したりするレジが付いた音の出る絵本である。品物カードにハンドスキャナーを押しあてると、「ピッ」という音とともに値段が表示されたり、レジで買い物の合計を計算できたり、ボタンを押すと「あついのでおきをつけください。」などの声が聞こえたりする楽しい内容である。</p>				
対 象 学 年	小学部2年	障 がい 種 別	知的障がい	該 当 教 科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達段階が3歳程度のダウン症の児童である。日常生活では、着替えや排泄で支援を必要とするが、一人でやろうとする習慣がついてきている。学習面では、平仮名や10までの数字を教師と一緒に読むことや食べ物カードを見ながら名前を覚えることなどに取り組んでいる。外出が好きで、家族で散歩や自宅近くのスーパーやコンビニに買い物に行くことが多い。教師や友だちとの買い物のときは、買い物カゴを持ったり、欲しいものを選んだり、レジで教師と一緒に支払いをしたりすることができる。</p> <p>本書を活用して、計算やお金の学習だけではなく、店内でのマナーなどを身につける学習に取り組むことで、楽しみながら買い物について学ぶことができると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) ボタンやスキャナーを触りながら自由に絵本を見る。 (2) 教師や友だちと店員やお客の役になりながら買い物をして楽しむ。 (3) 校外学習や買い物学習などの事前学習で買い物について確認する。 (4) 絵本を見て、買い物の手順を確認しながら、買い物の仕方を覚える。 (5) 品物カードに自分の好きなものの写真を貼って、オリジナルのお店屋さんごっこをする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	18
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	WORLD ATLAS 世界をぼうけん！地図の絵本		発 行 者 名	実業之日本社	
図 書 の 内 容	地球や人類の誕生から始まり、地図を見て世界を知ろうという展開になっている。世界の海の水温、生息する生き物などの特徴、また、オセアニア、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカなどを地域ごとに区切り、それぞれの地形、天候、生活、文化、抱えている環境問題などを見やすいイラストと分かりやすい文章で紹介している。世界中を網羅できる1冊である。また、「これ、知ってる？」と書いてある部分をめくると「万里の長城は月から見えると言われているが、実際は見えない」など、生徒が興味をもちそうな情報も掲載されている。				
対 象 学 年	中学部2年(特別学級)	障がい種別	病弱	該当教科	社会
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、内臓疾患のため体調を崩すと入院が長期化しやすくなる。小学校5年生程度の漢字の読み書きができる。47都道府県を言うことができ、県庁所在地も言えるようになって自信をもてるようになり、日本地図を見て友だちに得意げに「〇〇県」と教える姿も見られるようになった。地図に興味をもち始め、日本地図だけでなく世界地図も見られるようになってきた。</p> <p>また、雑学にも興味があり「先生、〇〇って知っていますか？」とテレビや本で得た情報を楽しそうに話すこともある。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 自由に興味のあるページを読む。</p> <p>(2) 世界の海については、記入することで簡単にその海について説明できるような「海紹介カード」を作成する。</p> <p>(3) 大陸については、記入することで簡単にその大陸または地域について説明できるような「大陸紹介カード」を作成する。</p> <p>(4) 大きな世界地図を地域別に色塗りし、紹介カードを貼る。他に紹介したい情報を世界地図に直接書き込む。</p> <p>(5) この学習を通して気になったこと、もっと知りたいことを、図書室やインターネットで調べる学習に取り組み発展させる。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	19
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	てんじつきさわるえほん さわるめいろ	発 行 者 名	小学館		
図 書 の 内 容	<p>本書は、点字の線を触ってたどり、迷路を楽しむ図書である。収録されている迷路は、表紙も含めて全11種類である。簡単なものからはじまり、順を追って難しいものにチャレンジしていくようになっていく。迷路遊びを通して、指先の感覚を高めたり、点字を読むときの指の運びが身に付くことが期待できたりするため、点字学習の導入に適している。スタートは逆三角形のマーク、ゴールは丸のマークとなっているが、スタートとゴールを反対にしたり、絵本の向きを変えたりするなどしながら、繰り返し取り組むことができる。</p>				
対 象 学 年	中学部1年(特別学級)	障 がい 種 別	視覚障がい	該 当 教 科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、全盲で知的発達段階が5歳程度の生徒である。学校生活に見通しをもち、指示を理解して行動することができる。音に敏感で、気になる音があるとそれに固執し、気が散りやすくなる面がある。集団での学習では、落ち着いて行動することが難しい場面も見られる。個別の学習では、静かで落ち着いた環境の中、ある程度の時間集中して取り組むことができる。点字を読むことはまだできないが、点字に興味をもち始めている。</p> <p>本書で学習することで本生徒は楽しみながら、点に沿ってたどること、腕や指の力を抜いて指先でたどることなど、点字の読みに必要な基本動作を身につけていくことができると考えられる。さらに、今後の点字学習がよりスムーズに進められるものと思われる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師が生徒の手を取り、点字の線に沿って指を動かす。 (2) 一人で迷路に取り組む。迷ったり、難しかったりする場面があれば、教師が手を取り、正しい道順を教える。 (3) スタートとゴールを反対にしたり、絵本の向きを変えたりして取り組む。 (4) 次の難度の迷路に取り組む。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	20
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	耳から覚えるはじめてのえいご おしゃべりえほん		発 行 者 名	永岡書店	
図 書 の 内 容	日本語と英語の単語やフレーズの発音を、200あまり聞くことができる音の出る絵本である。「いろ」「みのまわりのもの」「どうぶつ」「なんていうの？あいさつ」など、いろいろな内容の言葉が、平仮名・英語・英語の発音で表記されている。絵を見ながら日本語と英語のどちらかを選んで、絵本に示された番号のボタンを押すと、正しい発音を聞くことができる。イラストは、色鮮やかでかわいらしく描かれており、ボタンも操作しやすい大きさであり、楽しみながら英語に親しむことができる内容である。				
対 象 学 年	中学部1年(特別学級)	障 が い 種 別	聴 覚 障 が い	該 当 教 科	外 国 語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	本生徒は、聴力が左右とも85dBの聴覚障がいと知的発達段階が7歳程度の知的障がいのある生徒である。身辺処理はほぼ確立しており、補聴器を介してある程度の音声を聞き取ることができる。平仮名や片仮名、50までの数字を読んだり書いたりすることができる。教師や友だちとかかわることが好きで、発音が不明瞭ながらも自分から話しかけて会話を楽しむことが多い。英語に興味を持っており、英語のテレビ番組を見たり、英語バージョンの童謡を聞いたりもする。 本書では、「かぞく」「すうじ」などの基礎的な英単語ばかりが掲載されているので、外国語の導入として活用することができ、ボタン操作により楽しみながら学習に取り組むことができると考える。			
	指 導 の 概 略	(1) 絵本を自由に見る。 (2) 絵を見ながら、日本語と英語を読んだり書き写したりする。 (3) ボタンを操作して、日本語から英語、英語から日本語の発音を繰り返し聞き、まねしながら発音して覚える。 (4) 日本語の発音を聞いて英語で答えたり、英語の発音を聞いて日本語で答えたりする。 (5) 教師や友だちと絵本に出てくる英単語やフレーズを使って会話する。			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。